



“聴くことのできる人を育てる”

P.L.A ニュース 第58号

パートナーシップ アンド リスニング アソシエーション

2021年 7月 15日発行

発行者 P.L.A 事務所 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目7番3号 三好ビル 801号室 (月水金 11:00~16:00)

Tel&Fax 03-3255-2882 E-mail : info@pla-keicho.org ホームページ:http://pla-keicho.org/

ワクチン接種は急速に進んでいるようですが、東京 2020 オリパラの開催が間近に迫ってきているというのに、なお感染拡大は収まりそうにはありません。そんななか、ともに傾聴を学び、実践してきた私たちの仲間が、いろいろな課題に向き合いながらも、今できることとして、「電話の傾聴」に取り組んでいます。電話は、距離は離れていても人と人の心を繋ぐことのできるツールです。今回は、対面の傾聴活動ができるまで、そして「誰も一人にしない」ために、利用者さんのお顔を思い浮かべながら活動を続けている様子をご紹介します。



「電話で傾聴しています」

～対面の傾聴から電話の傾聴へ～



1人暮らしの Tさんの所に傾聴に行き7年が経ちました。Tさんは夫に先立たれ子供はいるもののあまり交流はなく、心身を悪くしてひきこもりがちということで傾聴が始まりました。Tさんと社会の接点はヘルパーと私のみ。夫が亡くなるまでは主婦として子供達を育て上げ、何の悩みもなかったようです。夫婦仲は良く頼りになる立派な人だったので、夫のいない人生は考えられず、生きている意味がない、子供は心配してくれない、淋しい、死にたいと話しをし、相棒を失うという事の本当の辛さを Tさんからひしひしと感じたものです。それでも7年が経ち、Tさんの話しの内容は基本的には変わらないものの庭に花を植えたり、散歩をしたりとご自分なりに工夫して生活をしていて逆に私が励まされる思いでした。

コロナになり、一年近く傾聴が出来ず心配していましたので公社の電話傾聴を始める事にしました。まだ2回ですので体験談と言えるものではありませんが1年ぶりの電話では Tさんは私の話す声がまるで隣にいるように聞こえると喜んでくれました。私も Tさんの部屋を思い浮かべて自然に話せました。これが初対面だとうちはいかなかったのではと思います。5年余りお互い話しをし、表情、間の取り方、お互いの環境を知っていたからこそと思います。それでもお互いの笑い合う顔を見たり、手を握ったりすることができず物足りない思いですが、Tさんはもっと話したい様子で、電話を切るのは辛い所です。しかし電話は耳に全神経を傾けるので、30分という時間は妥当と思います。最後に、次の約束をすると次に繋がるといふ希望が持て、心が軽くなります。

私は電話傾聴をする為に公社まで電車を乗り継いで行っています。もっと近くで出来たら気軽に、傾聴のハードルも下がるのではと思います。公的な場所、例えば公民館、出張所等で行えたら助かります。それには行政の横の繋がりが必要となり、これからの課題かと思えます。電話傾聴が行政、福祉のネットワークを押し進めるようになることを願っています。



船橋市福祉サービス公社 傾聴ボランティア 樽本久子



「2020年9月より電話傾聴を開始」

～電話でおしゃべりしませんか～



新型コロナウイルスの終息がまだ見通せない中、私達傾聴ボランティアも活動の場が閉ざされ残念な思いです。訪問できず、お世話になった施設や個人宅の方々・皆さんお元気だろうか？と、傾聴を通して多くの方々のお話しや笑顔に助けられていたと感じる今日この頃です。「外出自粛」このような生活がいつまで続くのだろうか？と不安な日々を過ごしている時、社会福祉協議会よりお話があって、昨年9月より電話傾聴を始めました。先ずグループでガラケーの携帯を2台購入し、ボランティア2人で3人の方の傾聴を始めました。申し込みがあったら、最初に担当ケアマネージャーと訪問し面談します。そのうちの1人の方はコロナ禍の間に施設入所されましたので、利用件数は2件で月に延べ3回です。こちらから決められた日時に、電話をかけます。約15分位の時間で無料です。利用者は以前から訪問傾聴をしていた方々です。

今までの施設や自宅に訪問し、お顔を拝見し寄り添って表情を感じながらの傾聴スタイルから、声だけの傾聴になったことに戸惑いもありましたが、その都度意見をきき、話しあいながら電話傾聴を進めていくことになりました。利用者の方から、電話がかかるとうれしい。少しの時間でも誰かと話す事で安心する。傾聴さんが自分のことを忘れていなかった・などの声が聞かれます。お互いの表情を観ることは出来ませんが、声のトーンで元気な様子がわかり、私達も安心出来ます。待っていてくださる様子が電話よりうかがわれ、大変嬉しく思っています。もっと多くの方に電話傾聴を知ってもらい、利用していただきたいです。

課題としては、約15分が短く電話が切りにくい・難聴者が多く、会話困難で申し込みできない人がいる・本人は希望するが、家族の傾聴への理解がなくて断られる・利用者への電話の受け渡しが難しい・2020年4月以降、携帯の通話料金負担が重荷に、などあげられますが利用者からの会費徴収や固定電話に変更することなどを検討しています。

在宅であれ、電話であれ、傾聴ボランティアを望む方は多く、大きな励みになっています。傾聴ボランティア活動は、私達の知識と心を豊かにしてくれます。一日も早く皆さんと再会できる日を楽しみにしています。



加賀市傾聴ボランティア「かが」

♥ P.L.A今年度開催予定の研修 (2021年7月～12月) 順不同 7/15現在 ♥

- ***連続講座**：東大和市社会福祉協議会（以下社協）、あきる野市社協・福生市社協・日の出町社協共同開催、船橋市福祉サービス公社、練馬区傾聴ボランティア・こだまの会
- ***その他の講座**：参加型システム研究所参加型福祉研究センター、生活クラブ生活協同組合パートナーシップ促進センター、川越友の会
- ***フォローアップ研修**：昭島市傾聴グループ「さざなみ」、あきる野市社協・日の出町社協・福生市社協共同開催、船橋市福祉サービス公社

♥ 第12回傾聴ボランティア交流会 10/22 (金) 開催予定 ♥

- ***テーマ**：コロナ下での傾聴ボランティアと今後の活動；実践例・活動の悩みなど今後の活動について
- ***会場**：国立オリンピック記念青少年総合センター * **時間**：13：30～16：00（受付開始13：00）

♥ 第31回P.L.A公開講座：傾聴講座 (2021年秋) 開催予定 ♥

- ***日時**：9/10(金),9/17(金),9/24(金),10/1(金),10/8(金)全5回【13:30～16:00】 ***定員**：15名
- ***会場**：国立オリンピック記念青少年総合センター会議室 ***参加費**：全5回分12,000円